

編輯室の内外

櫻月と爲つた、世の中に絶えて櫻のなかりせば春の心は長閑けからまし。昔、在原業平の時代から賞えられた櫻の花する月、いかに貧乏神に可愛がられてゐる編輯子でも櫻花を眺めては浮かれざるを得ない月だ併し浮かれた勢では無いが又候刊行日が遅れたことは讀者各位に對して寔に相濟まない、之も編輯同人の多くが失業救済道路改良事業のお蔭で手も足も出す餘裕がなかつた結果であつて、精力絶倫を以て自負し人も許してゐる路政僧君でさへも同様の態で如何ともすることが出来無かつた、責任を轉嫁したり負け惜しみの爲に言ふのでは無いが、之も我が路政の爲だと思つて週刊の罪を許して貰ひたい。

是れまでは内務省土木出張所の連中と本誌とは餘り縁が無かつた、此度は土木出張所が、失業救済國道改良工事を執行するやうに爲つて、路政と縁組するやうに爲つた。

今更言ふのちや無いが河川や港灣の仕事ばかり従事してゐた連中が、俄に道路工事を執行することに爲つたのは、河馬が陸へ上つたやうな氣も起らぬではないが、道路工事も矢張り土木工事の一つだから遠慮するには及ばない、緊禪一番、本誌に依つて近代路政の大勢を諒知し、社會が注視してある國道工事を無難に仕遂げ陸にあがつた河馬の非難を受けないやうに、失業者を救濟して貰ひたいものだ。

當然なことではあるが、我が路政が多方面に亘つて有する關係を具體化さればならぬ時代に爲つた、鐵道省が計畫してある觀光地の計畫でも、五十九議會を通過した國立公園法でも矢張り道路に基礎して諸般の計畫を目論んでゐる。いかに大自然を國民の保健衛生の爲に開放し又は外客を誘致しやうとしても、國民乃至は外客の通行する路が無ければ其の目的を達することが出来ないのであつて、茲に我が路政の活躍する、

否なすべき天地がある譯、従つて野暮臭い道路のことばかりでなく美的道路の研究が必要と爲つて來た。本誌も亦夫等に動機して來月誌上からは此方面の研究を發表するであらうことを約束する、之と同時に路政當局も亦此方面を考察して諸般の計畫を進めて貰ひたいものだ。

× × ×

本誌定 價五十錢
一ヶ年分 金 六圓

東京市麹町區大手町一丁目内務省内
發行所 社團 道路改良會
社 法人

發行兼 編輯者 小 島 效

東京市小石川區諏訪町五六

印刷所 常馨印刷所

印刷者 堀江關武